

登録番号	プロトコール名			
C50-80	乳癌毎週パクリタキセル療法(連投)			
診療科	総合外科	1クールの日数	7日	
審査日	2018年12月25日	所要時間	105分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	乳癌	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input type="checkbox"/> 初発、 <input type="checkbox"/> 進行・再発、 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助、 <input checked="" type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1, d8等)
1	パクリタキセル(パクリタキセル)・PTX	80mg/m ²	div	d1
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	Long-Term Follow-Up of the E1199 Phase III Trial Evaluating the Role of Taxane and Schedule in Operable Breast Cancer. J Clin Oncol. 2015;33(21):2353-60			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	減量は添付文書に従う			

プロトコールに関する解説

乳癌毎週パクリタキセル療法は、乳癌術前・術後化学療法において、パクリタキセルを毎週投与する治療法である。海外第Ⅲ相試験(EOG E1199試験)において、AC療法4サイクル後のタキサン系抗癌剤の投与方法として、パクリタキセルもしくはドセタキセルをそれぞれ毎週12サイクルもしくは3週毎4サイクル投与する4群が比較された。パクリタキセル毎週12サイクル投与は、パクリタキセル3週毎4サイクル投与と比較して、DFSは有意に延長し(p=0.011)、OSを改善した(p=0.09)。トリプルネガティブ乳癌に限っては、DFS、OSともに有意に延長した(p=0.01、p=0.019)。術前・術後化学療法におけるパクリタキセルは、3週投与1週休薬ではなく12週連続投与であることに注意が必要である。

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
乳癌毎週パクリタキセル療法(連投)		7日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
d1	① デキサート注6.6mg+ファモチジン注20mg+生食50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服 ② 生食100mL ③ パクリタキセル 80mg/m ² +5%ブドウ糖液250mL インラインフィルターを用いて投与 ④ 生食50mL(フラッシュ用)	点滴静注 点滴静注 点滴静注 点滴静注	10分 30分 60分 5分
プロトコール 適応時 表示コメント	パクリタキセル投与30分前までにレスタミン錠50mg内服		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄:)		